

令和6年度
石川県口腔インプラント研究会 創立20周年記念事業

石川県口腔インプラント研究会 創立20周年 記念学術講演会 & 祝賀会

日程：2024年11月17日(日)

会場：ホテル金沢 4階 藤の間 / エメラルド
金沢市堀川新町1番1号

記念学術講演会：9:00～13:00
(受付開始 8:30～)

祝賀会：13:15～15:00



石川県口腔インプラント研究会

日時：2024年11月17日(日) 9:00~13:00 (受付開始 8:30~)
会場：ホテル金沢 4階 藤の間 金沢市堀川新町1番1号



会長挨拶

平素より石川県口腔インプラント研究会の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで本会は、今年創立20周年を迎えることができました。これも会員の先生方、多大なる講師の先生方、ならびに協賛企業の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝しております。

今回の20周年記念学術講演会では、(公社)日本口腔インプラント学会下部組織として、本会のアイデンティティーをさらに高める目的で(一社)日本歯科専門医機構による歯科専門医制度の現状と今後、そして2040年問題に向けた歯科界の向かうべき道、グランドデザインの進捗と実際を日本歯科医学会副会長 小林隆太郎先生に基調講演して頂きます。また一般臨床家向けとしまして、他院で施術したインプラントを、X線を用いて系統立てて識別し、その後のメンテナンスやリカバリー等に役立てていく内容で、東京都開業 竹島明道先生に講演いただきます。そして今年の本会の学習テーマの一つである「唾液を科学する」の最終章として、コデンタルスタッフも交えた講演として、日本唾液ケア研究会会長 槻木恵一先生に講演いただくことになっております。これからも、発足当初から参集いただいている先生方をはじめ、若手の先生方やインプラント治療をこれから始めようとしている先生方にも、日常のインプラント臨床に役立つ、また興味を持っていただけるような企画を用意し、より一層の学びの共有というものを図るべく、努力していく所存です。今後とも本会事業に対しご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

石川県口腔インプラント研究会会長 溝口 尚

基調講演 9:10~10:10

「2040年への歯科イノベーションロードマップ」について

- 健康寿命延伸のための「口腔健康管理」
- 歯科界の潮流「歯科専門医制度」の2視点から



講師

日本歯科大学東京短期大学 学長
日本歯科大学附属病院口腔外科 教授
日本歯科医学会 副会長

略歴

1989年 3月 日本歯科大学大学院歯学研究所 博士課程修了
1991年 4月 日本歯科大学歯学部口腔外科学教室第2講座 講師
2001年 1月 日本歯科大学歯学部附属病院顎変形症診療センター長
2003年 4月 日本歯科大学歯学部附属病院口腔外科 助教授
2010年 4月 日本歯科大学口腔外科 教授
2021年 4月 日本歯科大学東京短期大学 学長

小林 隆太郎 先生

「口腔健康管理」と「歯科イノベーションロードマップ」

歯科界の活性化に向けて2018年に歯学のすべての学会から募った未来予想図が「歯科イノベーションロードマップ」です。具体的には2040年に向けたマイルストーンであり、少なくとも2040年までの歯科の挑戦が明示されています。現在、日本歯科医学会は「歯科界の活性化」をテーマに、国民の健康向上のために活動しています。その取り組みの一つが、新規歯科医療技術の提案です。診療報酬改定の持つ意味、いわゆる公的保険への収載は、日本の医療制度における医療提供の根幹となるもので、「口腔健康管理」の概念を基に、新規歯科医療技術の推進に取り組んでいます。医療技術の公的医療保険収載への道には3つの方法があります。

- ① 医療技術の新たな保険収載 → 医療技術評価提案書(学会)
- ② 先進的な医療技術の保険収載 → 新規技術届出(医療機関)
- ③ 医療機器、医療材料の保険収載 → 保険適用希望書(企業)

医療技術評価提案書による方法は、平成16年度改定から医科と同様の仕組みとなり、中央社会保険医療協議会(中医協)の診療報酬調査専門組織の医療技術評価分科会において審議されます。エビデンスレベルの高い医療技術評価提案書を作成し提出することは、公的医療保険による国民の健康維持と増進の大いなる一助となるもので、これは医療供給を行う者の責務と考えます。歯科医療技術、歯科材料、歯科医療機器などの研究、学会発表、論文投稿が数多く行われていますが、その先に続くものは臨床への応用であり、国民への医療技術の提供であると考えます。つまり研究発表、論文はそのための宝の山となります。今後、より一層の歯科界の活性化を新規歯科医療技術の具現化、社会実装の促進をもって対応していきたいと考えております。その旗幟鮮明となるキーワードが「口腔健康管理」であり、また社会的に国民に向けた歯科医療からのわかりやすい標榜が「歯科専門医」になります。

「歯科専門医制度」

歯科専門医機構設立までの課題:学会やスタディーグループは自己研鑽の場として重要な役割を果たしていますが、認定基準に統一性がなく担保されるレベルにバラつきがあります。類似した専門医の乱立、医科と比較して専門性や医院の特徴について公開されていないなど、さまざまな課題がありました。

国民からの声:学会の専門医制度に対して、「わかりづらい」との意見が寄せられていました。

厚生労働省の動き:2015年に厚生労働省内に「歯科医療に求められる専門性に関するワーキンググループ」が立ち上げられ、協議の末に広告開示に当たり客観的な評価による「第三者機関の必要性」が結論づけられ、機構が設立されました。「国民と社会から信頼される歯科専門医としての診療能力の担保と資格認定に関わる歯科医師専門医制度の標準化を図る」を使命に ①研修制度の見える化 ②客観的な評価の見える化 ③専門医情報の見える化 3つの整備指針を基本に活動してきました。歯科専門医制度とは、「歯科医師のための歯科専門医制度」ではなく、国民が適切な歯科治療を選択するうえで参考となるような「国民・患者さんに資するための制度」と位置付けています。現行では、歯科医師免許を取得以降の更新制度がなく国も生涯研修について明確な基準を設けていません。歯学部で基礎を学んだ後、卒後研修から生涯研修の一環として専門性を磨いていく。その過程で「専門医」という証をつくるのが求められているのではないのでしょうか。

講演① 10:20～11:35

インプラント難民ゼロを目指して



講師

東海大学医学部・医学科 非常勤講師
公益社団法人日本口腔インプラント学会
教育・研修委員
公益社団法人日本口腔インプラント学会
関東・甲信越支部学術委員

略歴

1976年 八王子市生まれ
2002年 東京歯科大卒 同年竹島歯科医院 入局
2003年 東海大八王子病院口腔外科入局（現在に至る）
2009年 徳風会高根病院 非常勤勤務（現在に至る）
2017年 竹島歯科医院 開設・管理者継承
2019年 医療法人社団IPPO五條歯科医院 非常勤勤務（現在に至る）

竹島 明道 先生

歯科インプラントは欠損歯の補綴法として、有益性が広く知られ、普及している。そのため、他院ですぐにインプラントを受療した患者に出会うこともしばしばである。既存インプラントへの対処には、システムの特定が必要なが多い。一方、国内に流通しているインプラントシステムは多岐にわたり、特定は非常に困難で、対処に窮する場合も多い。そのような、国内のインプラント難民をゼロにするべく、我々はさまざまな活動を行っている。その中から、インプラントシステム鑑別法のポイントや、書籍・Facebookインプラントコミュニティ「ImplaDetect」の活用法を解説する。また、昨今のインプラントが法歯学的に意義深くなっている事例を提示し、治療技術以外に求められるインプラント施術者の責務を論じたい。

講演② 11:45～13:00

唾液力を鍛えなさい！－唾液の機能性を高め 長期安定口腔健康管理を目指す－



講師

神奈川歯科大学 副学長・図書館長
東海大学医学部病理診断学非常勤講師
埼玉医科大学国際医療センター病理診断
科非常勤講師
日本大学松戸歯学部病理学講座非常勤講師

略歴

1967年 12月 東京生まれ
1993年 3月 神奈川歯科大学卒業
1997年 3月 神奈川歯科大学大学院終了
2007年 4月 神奈川歯科大学教授
2013年 6月 同大学歯学研究科長（2023年3月まで）
2014年 4月 同大学副学長
2021年 8月 神奈川歯科大学大学院附属 唾液科学研究所所長
2023年 4月 同大図書館長

槻木 恵一 先生

唾液の重要性は、これまで量の側面において強調されてきた。一方演者は、唾液腺や唾液成分の機能が全身との関連があるのではという仮説を検証してきた。その研究の成果として、唾液腺-脳相関に続き腸-唾液腺相関の存在を発見した。これらの研究から唾液成分の機能性に極めて重要な意義があることが判明したことから、約15年前から唾液には、質の側面もあると紹介し、唾液の意義に新たな概念を提唱してきた。一般向きには、量と質が唾液には存在し、「唾液力」として普及啓発をしている。さらに、唾液力を向上させることを唾液ケアと呼んでいる。

唾液の量の側面では、唾液は口腔内でどのように自浄作用を示しているかのメカニズムを紹介しつつ、う蝕と唾液量の関連について言及する。また、唾液量の増加に唾液腺マッサージが有効と思われるが、どの様に取り組みば効果がでるか論文を紹介しながら、唾液腺マッサージの適応と限界についての私見も述べたい。

一方、口腔は病原微生物の入り口であるが無防備ではなく、高度な免疫現象が感染の予防を実行している。この主役がIgAという抗体であり、IgAの機能を高めることが健康維持に重要である。これまで歯科では口腔の免疫を高めることに関心が薄かったが、ぜひ、「唾液の質を高める」＝「口腔免疫の向上」も歯科の役割として考慮して頂きたく、IgA増加法について情報提供するつもりである。特に歯磨きが口腔粘膜免疫を増加する効果を示すことを明らかにしたので紹介したい。

さらに、インプラント周囲炎との関連で早期診断に唾液検査が応用できないかの検討が行われている。特にシステムティックレビューから現状を報告すると同時に、インプラント医療における唾液検査の展望を紹介したい。

～石川県口腔インプラント研究会 20年の歩み～

西 暦 (年号)	沿 革
2004年 (平成16年)	扇谷義郎の発声により本研究会を設立 初代会長 扇谷 義郎 就任
2005年 (平成17年)	日本口腔インプラント学会 第25回近畿・北陸支部総会・学術大会を金沢にて開催(本会主幹)
2008年 (平成20年)	二代会長 永井 豊 就任
2012年 (平成24年)	三代会長 室木 俊美 就任
2014年 (平成26年)	四代会長 白石 晃一郎 就任
2015年 (平成27年)	日本口腔インプラント学会 第35回近畿・北陸支部総会・学術大会を金沢にて開催(本会主幹)
2016年 (平成28年)	五代会長 相岡 宣好 就任
2021年 (令和3年)	六代会長 溝口 尚が就任し、現在に至る

記念学術講演会 & 祝賀会

IIRG 20th

日時 2024年11月17日(日) 9:00~15:00

会場 ホテル金沢4階 藤の間(記念学術講演会) / 4階 エメラルド(祝賀会)

〒920-0849 金沢市堀川新町1-1 TEL: 076-223-1111 (JR金沢駅東広場から徒歩で約1分)

- 参加費**
- ① 学術講演会(9:00~13:00)のみ参加の場合(会員外の先生方も対象) **10,000円**
 - ② 学術講演会+祝賀会(9:00~15:00)参加の場合(会員の先生方のみ対象) **10,000円**
- (※研究会会員の方は①、②どちらの場合も参加費は10,000円です)

ホテル金沢 4階 藤の間



《アクセス》

- ・小松空港から直通バスで40分
(金沢駅西広場ターミナル 発着)
- ・北陸自動車道 金沢東ICから車で10分
- ・北陸自動車道 金沢西ICから車で15分



記念学術講演会 & 祝賀会 への参加を希望される方は、
FAXまたはE-mailにて、お申込みください。

2024.11.17(日) 創立20周年記念学術講演会 & 祝賀会 参加申込書

フリガナ			<input type="checkbox"/> 学術講演会のみ参加
申込者 氏名			<input type="checkbox"/> 学術講演会+祝賀会参加
勤務先			<input type="checkbox"/> IIRG会員
ご住所			<input type="checkbox"/> 富山・福井県研究会会員 <input type="checkbox"/> 非会員
電話番号	()	FAX	()
メール アドレス		@	

■ 参加お申込みはお早めにお問い合わせ致します